



TOKIO MARINE
T M S

TMS健康経営 取組みの概要

東京海上日動メディカルサービス

(1) 経営理念/求める人材層

経営理念	医療・健康増進をサポートするプロフェッショナル集団として、お客様に最大の満足を提供するトータルヘルスケアコンサルティング企業を目指します！
求める人材像	自らの職務遂行能力ならびに組織適応力を高め続けて成長し、かつ、それらの能力を最大限発揮し続けてお客様に満足を提供し、長きに亘って会社に対して貢献する人材

(2) 社員内訳

総数	医療職	医療職以外
340	164	176

(3) 有所見率の推移 (単位：%)

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
47.6	53.8	52.7	52.4	57.3

(4) 適正体重維持者率 (※BMIが18.5～25未満の者) の推移 (単位：%)

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
72.1	73.2	73.9	73.1	72.6

健康経営で解決したい経営上の課題と期待する効果

課題

- 従業員の平均年齢が高く、健康で長く働き続けられるよう健康管理を行う必要がある
- 社員意識調査における“自身の活性状況”の指標が低い

①生活習慣病リスク保有者の減少

②(心身の健康面を理由とした)離職者の減少

③仕事満足度の向上

期待する効果

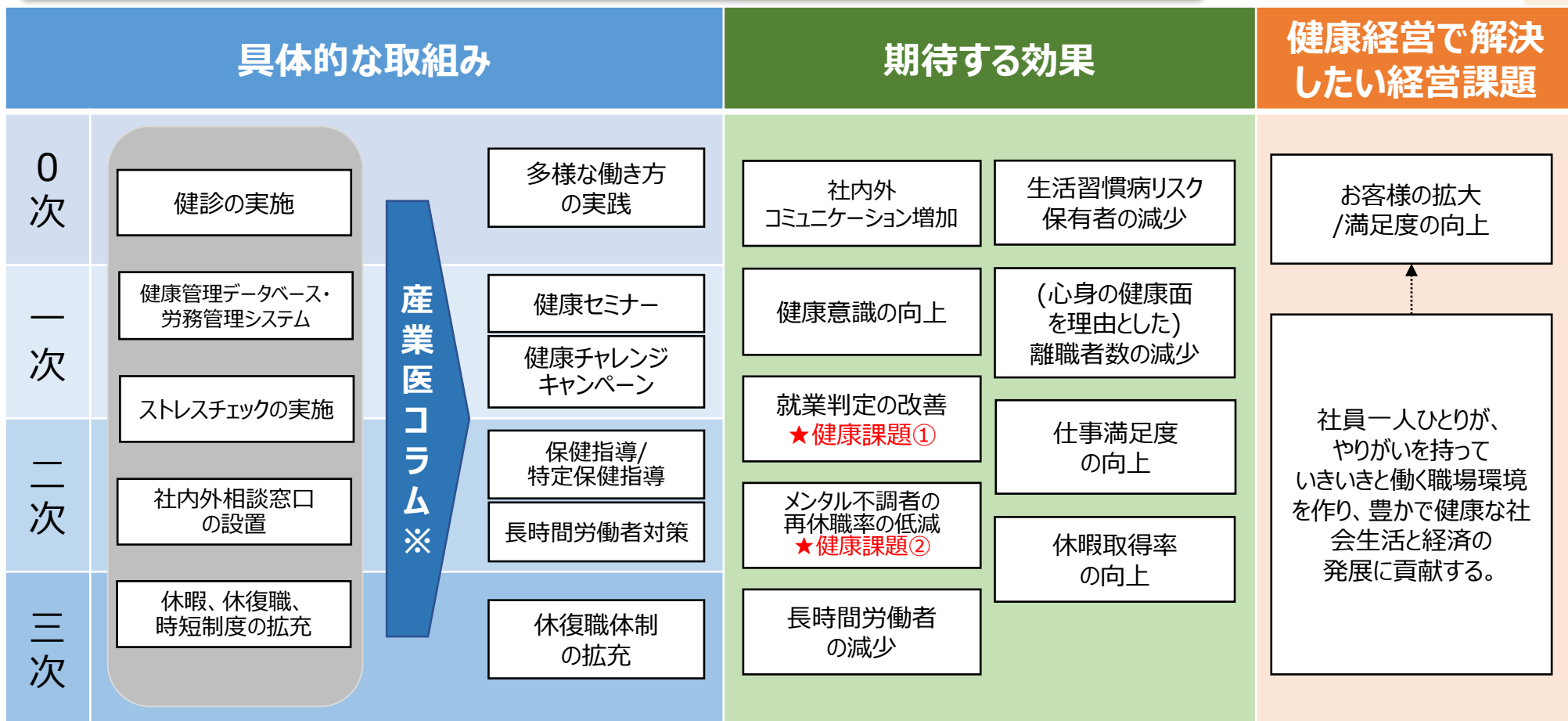
いきいきと働く社員が多くなる

『健康経営優良法人2022 ホワイト500』に5年連続認定

- 取組みの振り返り～課題に基づく施策の立案等、PDCAサイクルの実行
- 経営陣と社員が一体となって健康経営の取り組みを推進

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
総合順位	151～200位	351～400位	201～250位	451～500位	101～150位
総合評価	59.8	58.4(↓1.4)	61.3(↑2.9)	59.2(↓2.1)	62.4(↑3.2)
【参考】回答企業数	1239社	1800社	2328社	2523社	2869社

経営課題に対する具体的な取組み（戦略マップから）



< 取り組むうえで工夫したポイント >

- ポイント 1 : 健康経営度調査のフィードバックシートをもとに産業医・産業保健スタッフと年度振り返りを実施、次年度の年間計画策定に活用。
- (※) ポイント 2 : 情報発信（産業医コラム）から健康増進（健康チャレンジキャンペーン）を経て、健康診断を実施する等、結果と効果を踏まえ、各施策のつながりを構築。

当社の健康経営施策（重点取り組み×2）

①生活習慣病などの疾病の高リスク者に対する重症化予防

目標	課題				
『定期健康診断結果による就業制限者100%制限解除』	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病高リスク者に、適切に受診し治療を受ける受療行動ができておらず、就業制限に該当する者が存在する。 社員の平均年齢上昇に伴う有所見率悪化を防ぐため、就業制限者の100%制限解除に向けた取組みを継続する。 				
主な施策	効果検証（就業制限者の改善率）				
<ul style="list-style-type: none"> 治療中だがコントロール不良な者に対し、保健師面談に加え産業医面談を実施し、標準的な治療や主治医との対話についてアドバイスを実施する。 生活習慣病等で就業制限に該当している者に対し、受診確認できるまでフォローを継続する。 	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
	87.5%	85.7%	20.0%	66.7%	66.7%

②休職後の職場復帰、就業と治療の両立

目標	課題				
『復職後1年以内の再休職者を「0」にする』	<ul style="list-style-type: none"> メンタル不調者の個々の状況に合わせた復職リハビリを促進する。 休復職者の治療と仕事の両立にまつわる各種制度の社内浸透が課題。 				
主な施策	効果検証（再休職者数）				
<ul style="list-style-type: none"> 休復職の手引き等を作成し、制度や休復職基準を明確にする。 基準に基づき面談を進め、休職前早めに有給取得や受診を促す。 休職中の治療のゴールを明確にし、復職リハビリを促進する。 	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
	0名	0名	1名	0名	0名